

## 金属検出機で検出可能な切削用素材3製品を発売

クオドラント ポリペンコ ジャパン株式会社

クオドラント ポリペンコ ジャパン株式会社(本社:東京都中央区 社長:尾石 茂也)は、金属検出機で検出可能な切削用素材の本格販売を4月1日から開始します。新製品は、主に食品製造ラインの機械部品向けに多く使用される、ポリアセタール素材の「アセトロン™ MD」、ナイロン素材の「ナイロトン® MD」、超高分子量ポリエチレン素材の「タイバー® MD」の3製品です。

食品製造ラインの機械部品には、エンジニアリングプラスチックを切削加工した素材が多く使用されていますが、プラスチック部品が破損し食品に混入した場合、金属検出機で検出できないことから、近年、金属への代替が進んでいます。しかし、金属製部品は、金属検出機で検出できるものの、プラスチックに比べて重く駆動部へ過度の負荷がかかるほか、摩擦を低減させるために定期的なメンテナンスが必要となります。また潤滑油が飛散して食品に混入するなどのリスクもあります。

そこで当社は、プラスチック部品の長所を活かしつつ、金属検出機による不検出という課題を解決すべく、クオドラントグループが欧州で開発した磁性体を添加した切削用素材3製品(ポリアセタール素材「アセトロン™ MD」、ナイロン素材「ナイロトン® MD」、超高分子量ポリエチレン素材「タイバー® MD」)の国内市場向けの本格販売を開始します。新製品は、従来のエンジニアリングプラスチック製品と同程度の強度を有する一方、磁性体を添加しているため金属検出機によって検出できます。また製品の色調は、目視でも食品と区別しやすいブルー系を基調としています。さらに「アセトロン™ MD」及び「ナイロトン® MD」は、金属検出機だけではなく、X線異物検査機でも検出することができます。なお、新製品は、国内の食品衛生法をはじめ、FDA(米国)及びEU Directive 2002/72 EC standards\*を取得しており、各国の定める食品衛生基準をクリアしています。

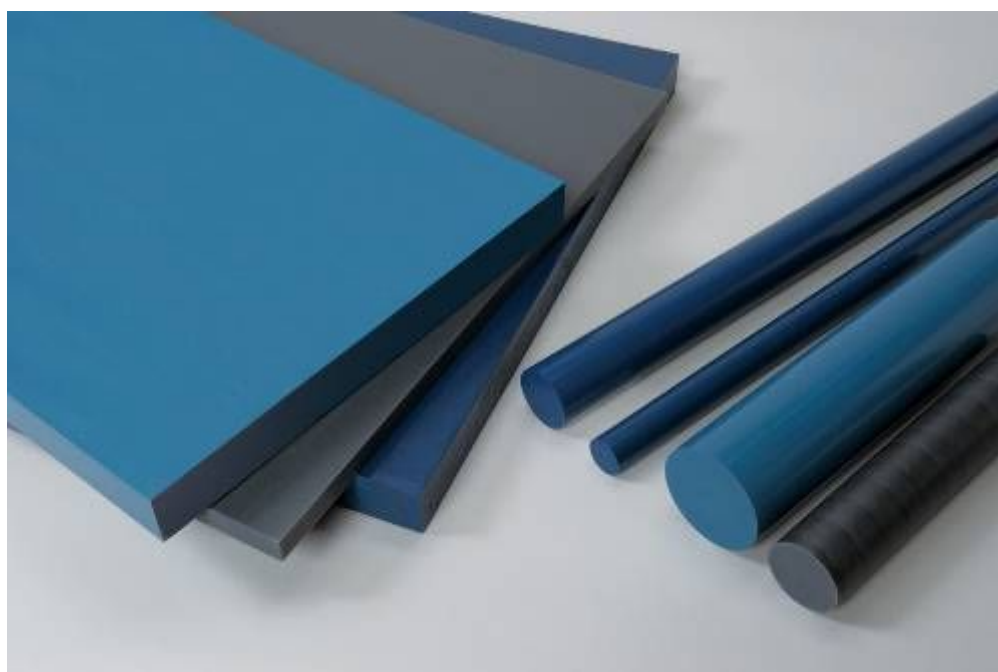
今後、当社は、金属検出機で検出可能な切削用素材3製品の販売を通じて、食品製造機械における、微小な異物混入の早期発見などの食品自体の安全性向上、エンジニアリングプラスチック製品使用によるメンテナンスコストの低減など、お客様へ様々なソリューションを提供してまいります。

\*EU Directive 2002/72 EC standard については、昨年5月の規格変更に伴い、現在、新基準適合の手続きを進めています。

<発売する素材について>

製品名	ベース素材	食品製造工場における主な使用例
アセトロン™ MD (Acetron® MD)	ポリアセタール (POM)	延伸ロール、充填ノズル、ローター、移送スクリー ュー、保持ホルダー、搬送カラー 他
ナイラトロン® MD Nylatron® MD	6ナイロン (PA6)	延伸ロール、刃物ガイド、搬送カラー、搬送ガ イド、掻き混ぜヘラ 他
タイバー®MD (TIVAR®MD)	超高分子量ポリエチレン (UHMW-PE)	レールガイド、刃物ガイド、移送スクリー ュー、掻 き混ぜヘラ、押出パッド、ローター 他

<製品写真>



<本件に関する報道関係のお問合せ先>

クオドラント ポリペンコ ジャパン株式会社

営業企画部

TEL:03-3279-3207